

食品の放射性セシウム基準値の国際比較

放射性セシウムについて基準 1kgあたり (2012.2現在、日本新基準は2012.4から)

	ベラルーシ	日本暫定	日本新基準	独防護協会	ウクライナ
乳幼児食品3歳まで	37	なし	50	子ども4	
飲料水	10		10		2
牛乳	100	200	50		100
パン	40			大人8	20
じゃがいも	80				60
牛肉	500				200
豚・鶏肉	200				200
乾燥きのこ	2500				
お茶	3700	500	100		

* ベラルーシは内部被曝・外部被ばくをあわせて1ミリシーベルトを基準目標

日本の暫定基準は放射性セシウムによる被ばくのみで年5ミリシーベルトを基準目標にしている(放射性ヨウ素は別枠)。新基準は年1ミリシーベルトを目標。

* 日本のヨウ素131の暫定基準は飲料水・牛乳300(乳幼児は100)ベクレル/kg、野菜類は2000ベクレル/kg。独ガス水道協会は水0.5,WHOは10。原発放出限度は40。

* チェルノブイリ事故時の食品輸入のセシウム暫定基準は370ベクレル/kgであった。

(その他参考)

* 肉用牛・肥育牛 粗飼料:放射性セシウムは300以下

乳用牛 粗飼料:放射性ヨウ素70以下

* セシウム:水田土壌5000,堆肥・肥料等400以下、汚泥肥料200以下